



# 友情は永遠に… Friends Forever

～中学生がトロイで国際交流体験～

高梁市国際交流協議会(小倉浩会長)は、国際姉妹都市等外国交流体験事業として、7月31日から8月7日まで米国オハイオ州トロイ市(平成2年に国際姉妹都市縁組を締結)へ市内の中学生9人と引率者3人を派遣しました。

生徒たちは、ホームステイ先の家族として、トロイ市での生活やイベントを体験。言葉の壁を乗り越えてコミュニケーションを取り、一生忘れない深い友情をつくり上げました。

問 高梁市国際交流協議会事務局(秘書政策課内) ☎ 21-0208

**ト**ロイ市派遣団の皆さんから寄せられた感想文の一部を紹介します。

「トロイ市派遣事業に参加して」  
高梁中学校 大月 一郎 校長

米国オハイオ州トロイ市への中学生訪問団の団長としてこの事業に参加しました。その職責の重さをひしひしと感じましたが、生徒全員が笑顔で元気に帰国できたことで少しほっとしています。

静かに振り返ってみますと、たくさんの方のサポートのおかげで8日間だったと思います。ホームステイ先の代表の方のスピーチの中で、「ホームステイを受け入れるためには、我々自身が心を開かないといけないこと。そういう意味でも我々にとっても、とても素晴らしい体験だ」とおっしゃっていました。トロイの方の心を開き、気さくで温かく受け入れてくださる姿勢には本当に頭の下がる思いでした。それはすべての生徒が感じたことでした。

7月31日夜、デイトン空港に到着すると、たくさんの方



が横断幕と笑顔で迎えてくださり、長旅の疲れが吹っ飛ばしてしまいました。中には、いきなりハグをしてもらい、感激のあまり大粒の涙を流した生徒もいました。生徒たちは、人を気持ちよく迎えるとはこういうことなのかと肌で感じたに違いありません。帰国するためにデイトン空港に集まった生徒たちは、一様に満足感と同時に「もう終わってしまったのか」という寂しさを漏らしていました。「このままずっとここにいたい」と言う生徒もいるくらい楽しく充実した日々を過ごすことができました。

そして、市役所前に到着し、家族の顔を見たときの安心した表情は当然ですが、その表情の中には、少し大人になったような、何か一つ壁を乗り越えたような充実感と落ち着きが漂う表情にも見えま

## トロイ市派遣団の皆さん(敬称略)

- 団長** 大月 一郎 (高梁中学校校長)
- 団員**
- 石井 龍也 (高梁中学校3年)
  - 大屋 遥 (高梁中学校3年)
  - 大本 武 (高梁中学校2年)
  - 内田 翔梧 (高梁中学校2年)
  - 関 佳紘 (高梁中学校2年)
  - 平井 智也 (高梁中学校2年)
  - 荒田 瑞季 (有漢中学校3年)
  - 奥田 紗代 (成羽中学校2年)
  - 三村 若葉 (川上中学校2年)
- 引率**
- 小嶋 誉恵 (高梁北中学校教諭)
  - 仁子 滋博 (社会教育課)



した。出発前、意欲的な言葉を発する中にも、声がやや小さめでシャイな部分も感じ、少しおとなしくも見えた生徒たちが、外国の人たちに心を開くことのすばらしさを学び、積極的に関わっていき、滞在中会うたびに成長しているように感じました。

今回のトロイ派遣を通して、本事業のすばらしさや重さを感じました。グローバル人材が求められるこれからの社会において、吸収力のある中学生が外国の文化や習慣に直接触れることはとても大切なことであることは言うまでもありませんが、外国の人と、いい関係をつくっていくには、心を開いて接することが何より重要であることを身をもって感じたと思います。

この体験を生かし、将来スケールの大きな人材が育っていくのではないかとこの期待感を持ちました。また、こういった人との温かいふれあいをできるだけ多く経験させることは、思いやりのある豊かな心を育てる上で非常に有意義なことであることも改めて感じることができました。

## 「愛に溢れた家族」

高梁中3年 大屋 遥さん

初めての海外旅行、初めてのホームステイ。不安でいっぱいだった私を、ママは何のちゅうちよもなく、抱きしめてくれた。私はそんな彼女たちの優しさに思わず涙が流れた。

ホストファミリーはとても優しい人たちで、私が「さまざまな場所に行き写真を撮りたい」と言えば、毎日どこかに出かけ、私の希望に添えてくれた。私の日本の家族にも毎日メールで、今日の様子と写真を送ってくれていた。

またお別れ会では代表になったノエルからうれしい言葉をたくさんいただいた。「ハルカは一人っ子だけれど、アメリカでこんなにもたくさん兄弟ができた」。そう言ってもらえたのが何よりうれし



## 「夢への第一歩」

有漢中3年 荒田 瑞季さん



とても充実した8日間だった。初めての海外でのホームステイで、最初は不安もあったが、ホストファミリーの皆さんが温かく迎えてくださったので不安も吹き飛んだ。身振り手振りの拙い英語が通じたときは、何ともいえづうれしかった。一番驚いたのは、アメリカ到着直後は会話が速くて聞き取れなかったり、英語ばかりの生活になれなかつ

た。初めての海外でのホームステイで、最初は不安もあったが、ホストファミリーの皆さんが温かく迎えてくださったので不安も吹き飛んだ。身振り手振りの拙い英語が通じたときは、何ともいえづうれしかった。一番驚いたのは、アメリカ到着直後は会話が速くて聞き取れなかったり、英語ばかりの生活になれなかつ

たりした私が、数日でそれになじんでいたことだ。

このトロイでの体験を通して、私はずっと英語を勉強したいという思いを強くした。ホストファミリーから何か質問をされたとき、言いたいことはたくさん浮かぶのに、それを英語で伝えられないことがとても悔しかったからだ。新学期からの授業も、今まで以上に真面目に取り組みたいと思う。そして高校に進学したら、もっと実用的な英語を学びたい。

今回の体験は、私の中でかき消えない思い出になったとともに、将来の夢や目標に近づく大きな一歩になったと思う。

